みんなの財政

～令和４年度決算～

令和５年１０月

千葉市

はじめに

皆様は、「財政」という言葉にどんな印象をもたれるでしょうか？
「よくわからないけど難しそう」「金額が大きすぎてわかりにくい」という方もいらっしゃると思います。
本書は、皆様に、本市の「財政」に興味をもっていただき、理解を深めていただけるよう、市民１人あたりの金額におきかえたり、税金の使途を見える化するなど、わかりやすさを重視して作成しています。
１人でも多くの方にお読みいただき、本市の財政運営にご理解とご協力をいただければ幸いです。

もくじ

1　「財政」って何？　・・・・・・・・・・・・・・　1

2　市の収入と支出　・・・・・・・・・・・・・・　2

3　税金のつかいみち　・・・・・・・・・・・・・　4

4　令和4年度のトピックス　・・・・・・・・・・　10

5　借金と貯金　・・・・・・・・・・・・・・・・　12

6　これからの財政　・・・・・・・・・・・・・・・　16

7　お問い合わせ先　・・・・・・・・・・・・・・・　19

本書では、主に**令和４年度決算**の数値を使って説明します。
また、市民１人あたりの金額を算出する際は、
令和４年度末の人口（９７８，０６４人）を使っています。

※四捨五入の都合上、合計等が一致しない場合があります。

1　「財政」って何？

❶「財政」って何…？

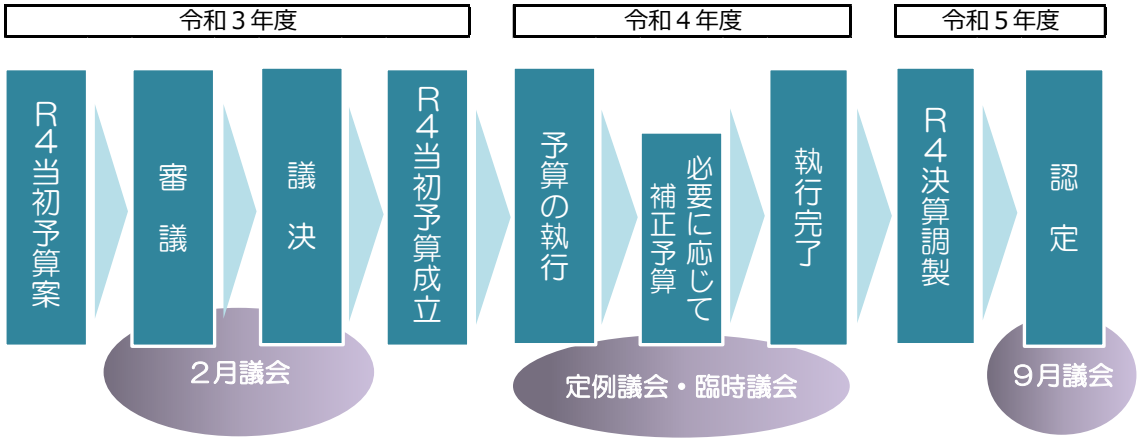
「財政」とは、わかりやすく言うと**「お金のやりくり」**のことです。
家庭では、給料をどのようにやりくりするかを考えていると思います。
市でも、皆様に納めていただく税金などを活用して、必要性や優先度を考え、何にどれくらい使っていくか、というやりくりをしています。
なお、行政機関では、このやりくりを、原則、年度ごとに行います。

お金のやりくりが「財政」なのね
わたしたちの家計のやりくりと一緒ね

❷「予算」と「決算」って何…？

「予算」とは、お金のやりくりの「計画書」です。
市では、新年度に向けて１年間の予算案を作り、２月議会でチェックを受け、承認されると正式な予算になります。新年度の予算を当初予算、年度途中に当初予算を変更した予算を補正予算といいます。
「決算」とは、お金をやりくりした結果の「成績表」です。
予算と同じように、9月議会でチェックを受けています（図表１）。

【図表１】予算から決算までの流れ
（令和４年度予算･決算の例）



2　市の収入と支出

❶ 市の収入はどれくらい？

令和４年度決算の一般会計総額で 5,299億円 です。
市民1人あたりでは 54.2万円 になります。

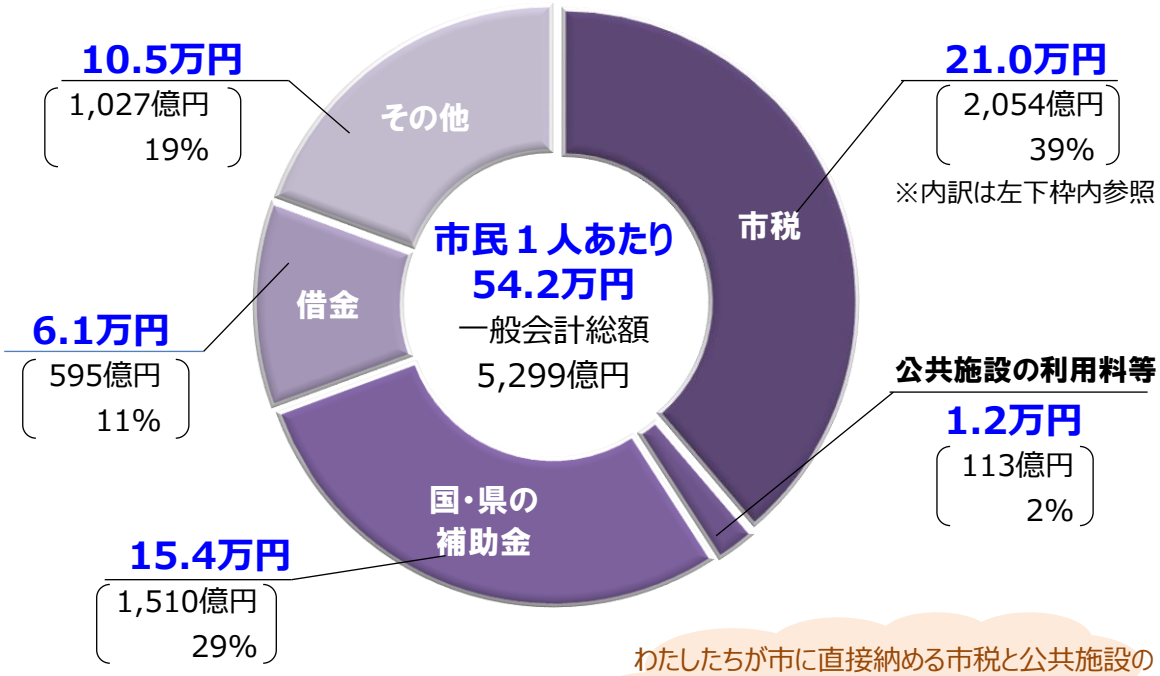
❷ どんな収入があるの？

市の収入の根幹であり皆様に納めていただく市税をはじめ、公共施設の利用料や国・県からの補助金などがあります。そのほか、不足部分は、やむを得ず借金をしながら、何とかやりくりをしています。

なお、国・県からの補助金も、皆様に納めていただく税金が基になるので、行政運営のほとんどが、税金でまかなわれることになります。

【図表２】市の収入（R4決算）

※金額は**市民1人あたり**（カッコ内は総額、構成比）



わたしたちが市に直接納める市税と公共施設の利用料で全体の約４割になるのね。
借金がけっこうあるのが気になるわね…

【参考】市税21.0万円の内訳

		（構成比）
市民税	11.0万円	(53%)
固定資産税	7.2万円	(34%)
都市計画税	1.4万円	(7%)
市たばこ税	0.7万円	(3%)
その他	0.7万円	(3%)

※借金については、12ページで詳しくご紹介します。

❸ 市の支出はどれくらい？

令和４年度決算の一般会計総額で 5,230億円 です。
市民1人あたりでは **53.5万円** になります。

❹ どんなことに支出しているの？

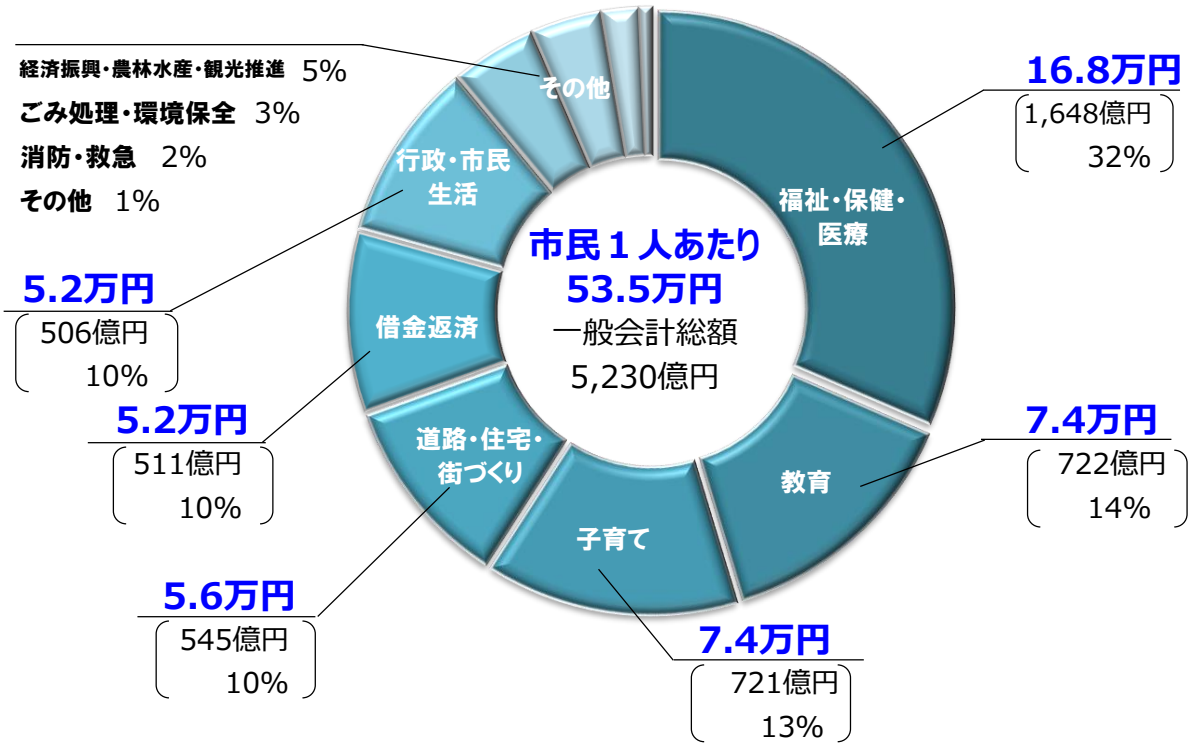
高齢者介護や生活保護などの福祉・保健・医療や、保育所運営などの子育て支援・教育に関する支出で、全体の59%を占めています。

次に、過去に取り組んだまちづくりのための借金の返済が10%を占め、高い割合となっています。

このほか、市民生活関係や産業振興など、支出先は多岐に渡ります。

【図表３】市の支出（R4決算）

※金額は**市民1人あたり**（カッコ内は総額、構成比）



ひとくちメモ

市の宝くじ収入をご存知ですか？金額は、令和４年度決算で約27億円です。

宝くじ販売総額の**約40%は市の収益金**となり、少子高齢化対策、防災対策、教育・社会福祉施設の整備などに使われます。収益金は、**市内の販売実績に応じて配分**されるので、宝くじをご購入の際は、ぜひ市内の売り場でお願いします！

3　税金のつかいみち

❶ 税金のつかいみちをもっとわかりやすく教えて！

ここからは、皆様になじみのある事業や制度について、税金がどの程度使われているか、わかりやすい数字に置き換えてご紹介します。

（補足）
・R4年度歳入歳出決算の数値を用いています。
・数値の表記は、表示単位未満等を四捨五入しています。
・国・県からの補助金などの特定財源を除く一般財源を「税金」と表記しています。

高齢者の介護（介護保険制度）

事業の内容

介護保険制度に基づき、訪問介護(ヘルパー)などの介護サービスを提供しています。介護サービス費用のうち、原則、9割分を介護保険で負担し、利用者負担は1割です。費用は、加入者の保険料や国・県からの補助金のほか、税金でまかなわれています。

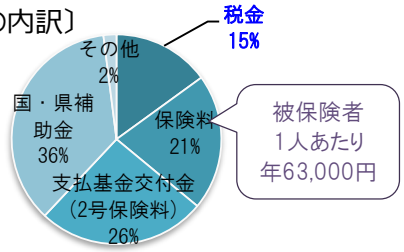
基礎データ

介護保険被保険者	要支援・要介護認定者	介護保険全体の費用
26万人	4万8千人	760億3千万円
※R4年度末時点	※R4年度末時点	※介護保険事業特別会計歳出決算

わかりやすい数字に置き換えます

要支援・要介護認定者１人あたり、
157.4万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
11,900円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



ひとくちメモ

市では、町内自治会などが行う「健康づくり」の取り組みを応援しています。
介護を必要とする人を、1自治会あたり1人減らすことができると、年間**約17.3億円の費用が削減**され、1人あたりの保険料も**年1,500円安く**なります。
健康を維持できれば、保険料負担も減らすことができ、一石二鳥です！

国民健康保険

事業の内容

会社等の健康保険に加入していない方は、国民健康保険に加入します。
保険診療分の原則7割分を国民健康保険で負担し、患者負担は3割です。
費用は、加入者の保険料や国・県からの補助金のほか、税金でまかなわれています。

基礎データ

国民健康保険被保険者
17万7千人
※R4年度平均

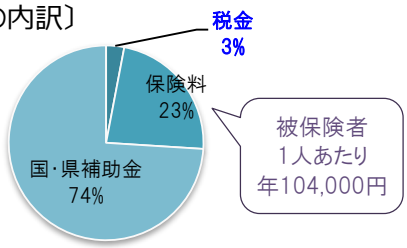
医療の給付
延べ291万件

国民健康保険全体の費用
801億6千万円
※国民健康保険事業特別会計歳出決算（単年度）

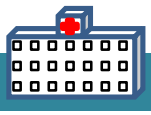
わかりやすい数字に置き換えます

被保険者（加入者） 1 人あたり、
45.3万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民 1 人あたり、
3,000円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



市立病院の運営



事業の内容

市では、青葉病院と海浜病院の2つの病院を運営しています。
青葉病院は救急医療、内科、整形外科等の専門的治療の充実に、海浜病院は救急医療、小児・周産期医療の充実に取り組んでいます。
運営費用は、保険者や患者からの医療収入でまかなわれるほか、救急医療の費用の一部などは、国のルールに基づき税金でまかなわれています。

基礎データ

入院患者　延べ16万1千人
外来患者　延べ31万7千人

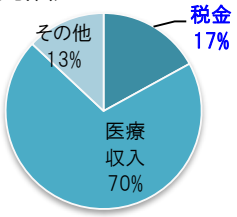
医師150人、看護職員640人
医療技術員181人
※R4年度末時点

運営費用
227億2千万円
※収益的支出決算

わかりやすい数字に置き換えます

市民 1 人あたり、
2.3万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民 1 人あたり、
4,200円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



保育所等の運営

事業の内容

保護者が日中就労などで、家庭での保育ができない児童を預かります。
運営費用は、主に税金と保育料でまかなわれています。
令和元年10月からは、「幼児教育・保育の無償化制度」が始まり、３～５歳児の利用料を原則無償化しています。

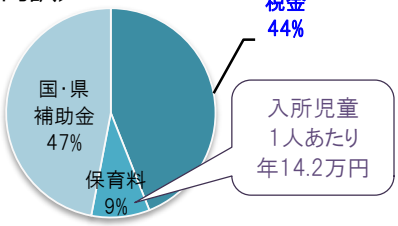
基礎データ

入所児童数	公立　57か所 民間　292か所	運営費用
21,526人		361億3千万円
※R4年度平均	※R4年度末時点	

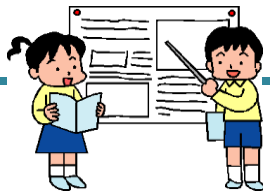
わかりやすい数字に置き換えます

入所児童１人あたり、
167.8万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
16,400円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



学校の運営



事業の内容

市では、小・中・特別支援学校を運営しています。
平成29年4月の県から市への権限移譲にあわせ、独自の学級編成や柔軟な教員配置を実施するなど、子ども１人１人へのきめ細かな教育を進めています。
運営費用は、税金のほか、国や県からの補助金等でまかなわれています。

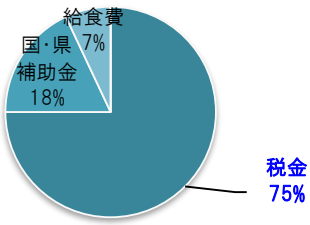
基礎データ

児童・生徒数	小学校108校、中学校54校 特別支援学校3校	運営費用
68,511人		541億8千万円
※R4.5時点	※R4.5時点	

わかりやすい数字に置き換えます

児童・生徒１人あたり、
79.1万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
41,700円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



道路の維持管理

事業の内容

道路の清掃や補修のほか、道路施設の点検を行っています。
維持管理費用は、主に税金でまかなわれています。

基礎データ

道路の長さ　3,385.0km
(うち市道　3,239.5km)
※R5.4.1時点

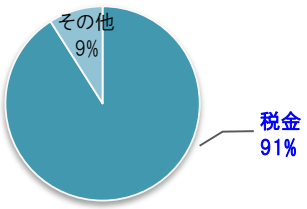
市道の舗装率
91.5%
※R5.4.1時点

維持管理費用
28億4千万円

わかりやすい数字に置き換えます

市民１人あたり、
　　0.3万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
　2,700円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



下水道の維持管理

イメージキャラクター
カワウソ一家

事業の内容

家庭や工場から排出される汚水を集めてきれいに処理したあと、汚泥は埋立やリサイクルに、処理水は海へ放流しています。また、浸水被害を未然に防ぐため、雨水を集めて海へ放流しています。

維持管理費用のうち、汚水の処理費用は下水道使用料でまかなわれていますが、雨水の処理費用など、国のルールに基づき税金でまかなわれるものもあります。

基礎データ

下水道処理可能人口　95万人
下水道処理人口普及率　97.5%
※R4年度末時点

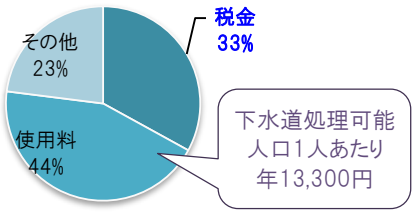
下水処理場　4か所
ポンプ場　18か所
※下水処理場のうち2か所は県所有

維持管理費用
287億円
※収益的支出決算

わかりやすい数字に置き換えます

市民１人あたり、
　　2.9万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
　9,600円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



ごみの処理

ごみ削減キャラクター「へらそうくん」

事業の内容

家庭や事業所から排出された可燃ごみは、清掃工場で焼却し、残った灰は、主に最終処分場に埋め立てています。

処理費用は、税金のほか、家庭ごみや粗大ごみの手数料等でまかなわれています。

基礎データ

家庭ごみ 20万5千トン
（1人1日あたり 574g）

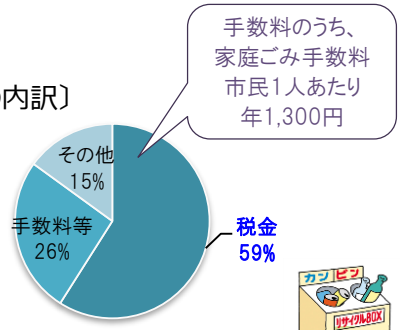
清掃工場2か所、リサイクルセンター1か所
し尿前処理施設1か所、最終処分場1か所

処理費用
128億2千万円

わかりやすい数字に置き換えます

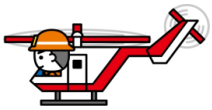
市民１人あたり、
1.3万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
7,700円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



（注）ごみの処理経費は、環境省の基準ではなく、市の会計基準から算出しています。

消防・救急活動



事業の内容

消防隊や救急隊、救助隊、航空隊が皆様の命を守ります。

市では、消防車両のほか、消防防災ヘリコプター2機と消防艇1隻も所有しています。

活動費用は、主に税金でまかなわれています。

基礎データ

消防署・出張所 25か所
消防職員 915人
※R5.4.1時点

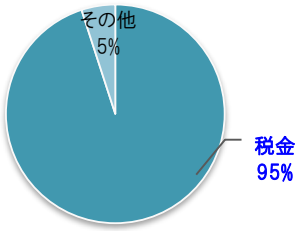
消防車122台、出動6,433件(うち火災250件)
救急車32台、出動66,892件
※車両台数は、R5.4.1時点
※出動件数は、R4年中

活動費用
97億5千万円
※消防団費用除く

わかりやすい数字に置き換えます

市民１人あたり、
1.0万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民１人あたり、
9,400円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕

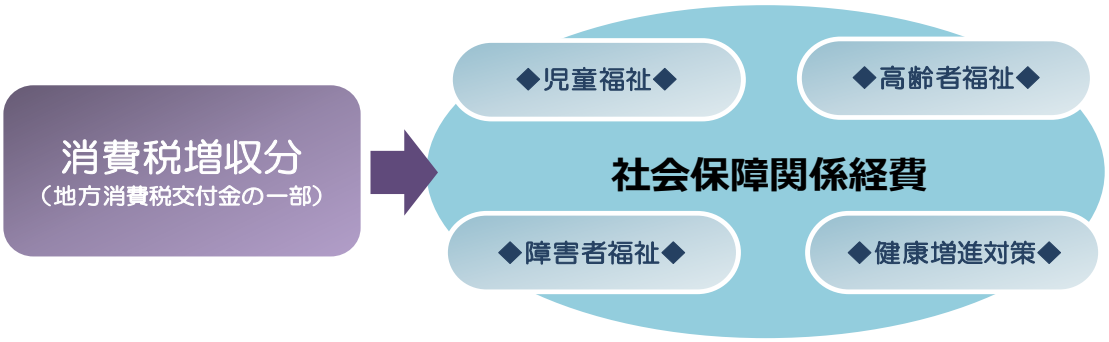


❷ 消費税の増税分は何に使われているの？

令和元年10月から、消費税率が8%から10%に引き上げられました。

消費税10%のうち、7.8%が国、2.2%が地方に割り振られるため、消費税収入は市の収入の一部になります。（「地方消費税交付金」として、県から交付されます）

市では、引き上げに伴う増収分を、幼児教育・保育の無償化等新たな社会保障施策に活用しています。



4　令和４年度のトピックス

ここでは、令和４年度決算の中から、
市の主な取組みをご紹介します。

物価高騰に対する支援

取組内容

長期化する物価高騰による市民・事業者への影響を緩和するため、国の地方創生臨時交付金を活用するなどし、下水道使用料等の減免措置のほか、子育て世帯への給付金の支給、中小企業者向けの支援金の支給などを実施しました。

かかった費用

●決算額　**133億7,700万円**（全20事業）

主な実施内容

【市民生活への支援】

●下水道使用料等の減免　（14億9,000万円）

物価高騰などの影響を受ける市民や事業者の負担を軽減するため、下水道使用料等の一部減免を実施しました。

【減免内容】 基本使用料及び月10㎥までの従量使用料
【減 免 額】 使用期間4か月で最大約3,200円（税込）
※農業集落排水使用料及びし尿汲み取り手数料についても同程度を減免

●子育て世帯への給付金　（18億1,800万円）

物価高騰に直面する子育て世帯を支援するため、国の経済対策に伴う給付金（5万円/児童1人）を支給するとともに、市独自に給付金を支給しました。

子育て世帯臨時給付金（市独自給付分）
【対象世帯数】 74,347世帯
【 支　給　額 】 1万円/1世帯当たり

【事業者等への支援】

●中小企業者緊急特別支援金　（5億円）

原材料費等のコスト増加の影響を受ける中小企業者に対して、事業継続のための支援金を支給しました。

【対象事業者数】 市内に「本社・本店」を有する中小企業者等
【給付事業者数】 1,828件

災害に強いまちづくり

取組内容

災害に強いまちづくりを目指し、九都県市合同防災訓練を実施したほか、市民の安全・安心を支える総合防災拠点として新庁舎の整備、防災備蓄品の更新等を行いました。

主な実施内容

●第43回九都県市合同防災訓練（千葉市会場）　（2億1200万円）

防災機関との連携協力体制の充実・強化と住民一人ひとりの防災行動力の向上を目指し、九都県市合同防災訓練の中央会場として、大規模かつ実践的な訓練を行いました。

【主な訓練内容】
救出・救護訓練（トンネル多重衝突事故）、燃料供給訓練、ヘリコプターよる広域医療搬送訓練、政府調査団現地調査訓練、多重遺体取扱訓練　等

●災害に強い新庁舎の整備　（150億1,200万円）

市民の安全・安心を支える総合防災拠点として新庁舎の整備を推進し、令和５年６月に全面開庁しました。

基礎免震構造の採用や災害発生時のバックアップ機能の整備により業務継続性が確保されるとともに、危機管理センターに設置した大型マルチモニタ等により、情報収集・分析が効率化され、避難情報等の情報発信をより迅速に行うことが可能になりました。

●防災用品の整備

①防災ラジオの更新　（1,500万円）

町内自治会等へ配布している防災ラジオについて、コミュニティFM経由で緊急情報を受信し、自動起動するラジオを導入しました。

【更新台数】 町内自治会等　1,739台
民間保育施設等　465台　合計　2,245

②防災備蓄品の整備　（3億2,900万円）

災害時に避難者の健康保持を図るため、引き続き栄養補助食品や飲料水等を更新したほか、マンホールトイレや備蓄倉庫等を整備しました。

「もしも」を「いつも」に

いざというときに備えて、日頃から地域でコミュニケーションを図り、住民同士が支え助け合える、災害に強い地域をつくりましょう！

5　借金と貯金

❶ なぜ借金をするの？

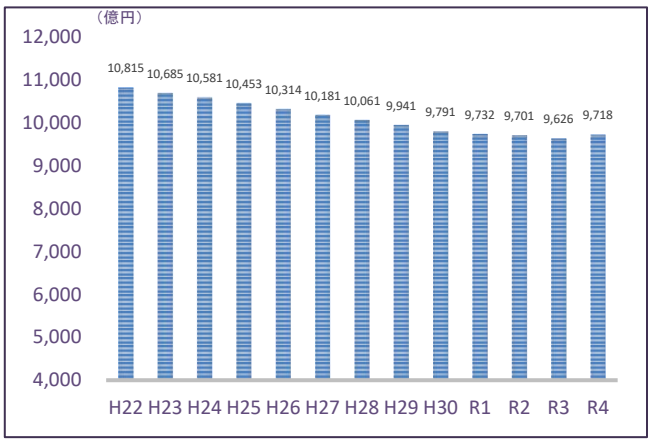
家や車を買うときは、ローン（借金）を組むことがあると思います。
市でも、大規模で長期間使う道路や建物の整備・改修をするときは、ローンを組んで（借金をして）います。
もし、借金をしないで単年度の税金だけでまかなおうとすると、その年の財政を圧迫し、現在世代と将来世代の間の費用負担が不公平になってしまいます。

❷ どれくらい借金があるの？

道路や下水道などの基盤整備や、区役所や学校などの公共的な建物の整備のために借金をしており、令和4年度末の借金残高は**9,718億円**、市民1人あたりで**99万円**となっています。（図表４）

【図表４】借金と基盤整備の状況

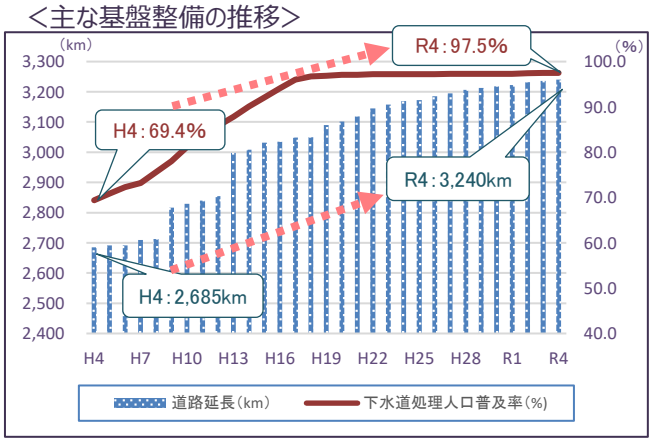
＜借金残高の推移＞



借金残高　市民1人あたり
H22：113万円
→ R ４：　99万円

令和４年度決算では、市民生活に不可欠な新清掃工場などの整備を行った結果、前年度に比べ92億円増えました。

＜主な基盤整備の推移＞

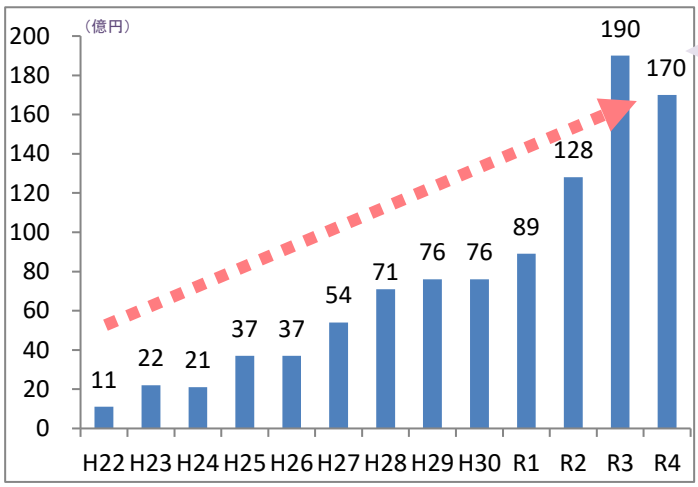


まちづくりのためには借金も必要だったのね。
借金が増えすぎないように、これからも使い道に気を付けないと！

❸ 貯金はないの？

貯金もあります。これを「基金」といい、市には18の基金があります。
令和４年度末の基金残高は**1,600億円**、市民1人あたりで**16万円**です。
基金のうち「財政調整基金」は、税収が予定どおりに見込めずに収支不足となる場合など、いざというときのための貯金で、令和４年度末の残高は**170億円**、市民1人あたりで**17,000円**です。
また「市債管理基金」は、借金の返済期限がくるまでの間に、将来的に借金を返済するための積立金を管理する基金で、残高は1,250億円あり、基金残高全体の約8割を占めています。（図表５・６）

【図表５】貯金（財政調整基金残高）の推移



貯金残高　市民1人あたり
H22：1,100円
→ R　4：17,000円

いざというときのための貯金は、着実に回復しています。

【図表６】主な貯金の状況

（単位：百万円）

区　分	残　高		増　減	貯　金　の　目　的
	R4	R3		
市　債　管　理　基　金	124,951	120,230	4,721	借金の返済期限までに適切に返済するために積み立てています。
財　政　調　整　基　金	17,037	18,959	△ 1,922	急激な経済変動による大幅な税収減や、災害等への対応など、いざというときに使うために積み立てています。
リサイクル等推進基金	3,513	3,282	231	ごみの減量、リサイクルなどの事業に使うために積み立てています。
緑　と　水　辺　の　基　金	2,928	2,947	△ 19	公園の整備・運営などに使うために積み立てています。
市　庁　舎　整　備　基　金	592	2,479	△ 1,887	市の庁舎を整備(建替等)するために積み立てています。

④ 借金が多いけど大丈夫…？

貯金と借金だけでは市全体の財産の状況が分からないので、市がもつ「資産」も合わせて考えてみます。市の資産には固定資産と流動資産があり、資産の合計から、借金などの「負債」の合計を差し引いたものを「純資産」といいます。

資産と負債を比較すると、資産が上回っており、令和３年度決算で算出した純資産は総額**1兆4,546億円**、市民1人あたりで**148.9万円**です。(図表７)

【図表７】資産と負債の状況（R3決算・一般会計等）

区分	金額（億円）	1人あたり（万円）	家計に例えると…
資産合計①	23,542	241.0	
固定資産	22,174	227.0	
土地、建物、道路	21,514	220.2	マイホーム
物品、車両、ソフトウェア等	109	1.1	マイカー・家具・家電
投資、その他の資産	551	5.6	株式など
流動資産	1,368	14.0	
資金、基金への積立金	1,347	13.8	貯金
その他	21	0.2	
負債合計(市債など)②	8,996	92.1	ローン残高
純資産（①－②）	14,546	148.9	

将来の負担が大きくなりすぎないように、資産と負債のバランスには注意していかないとね！

❺ 他市と比較すると千葉市はどうなの？

財政の健全性を表す指標として**「健全化判断比率」**があります。

これは、1年間の収入に対する赤字額や借金残高の割合を示した４つの比率の総称で、**数値が低いほど財政が健全**であることを示します。

令和４年度の健全化判断比率は、実質公債費比率は10.6%で政令市20市中18位、将来負担比率は125.0%で政令市20市中15位となっています。

前年度に比べ比率は低下しましたが、政令市の中で高い水準であり、将来の負担が大きくなりすぎないよう、引き続き、注意していく必要があります。

なお、いずれの比率も、国の基準(早期健全化基準)を大きく下回っています。（図表8）

【図表８】健全化判断比率の状況

	比率の種類	説明	R4決算	対前年	早期健全化基準 (財政再生基準)
❶	実質 赤字比率	一般会計などの実質赤字額の、 収入に対する割合	赤字なし	－	11.25% (20.00%)
❷	連結実質 赤字比率	すべての会計の実質赤字額の、 収入に対する割合	赤字なし	－	16.25% (30.00%)
❸	実質 公債費比率	各年度の借金返済額の、 収入に対する割合（3か年平均）	10.6%	△0.6P	25.0% (35.0%)
❹	将来負担 比率	将来、市が負担する借金残高等の、 収入に対する割合	125.0%	+9.0P	400% (基準なし)

■早期健全化基準以上になると…

財政健全化計画を作り、自主的な改善努力が求められます。

■財政再生基準以上になると…

財政再生計画を作り、国などが関与して確実な再生が必要になります。

健全化判断比率は、政令市の中で高い水準ですが、
これまでの財政健全化の取組みを踏まえ、財政の健全性を維持していくことが大切です。
詳しくは、次ページ以降でご説明します。

6　これからの財政

市の財政状況はご理解いただけましたか？
ここでは、これまでの取組みと、これからの市の財政運営をどのようにしていくかを簡単にご説明します。

❶ 市は財政運営でどのようなことをしてきたの？

■危機的な財政状況

わたしたち千葉市は、平成4年の政令市移行に伴う街づくりのための借金の返済がピークを迎える中、市税収入の大幅な減少などが重なり、予算の編成では、多額の収支不足が見込まれていました。

また、これまでのように、借金などに過度に依存した財政運営を続けると、**実質公債費比率**が、早期健全化基準の25%を超え、国の制約を受ける可能性があるなど、危機的な状況に直面しました。

■「脱・財政危機」宣言の発出と財政健全化プラン

このため、平成21年10月に**「脱・財政危機」宣言を発する**とともに、**「第1期財政健全化プラン」(平成22～25年度)**を策定し、財政健全化に向けてさまざまな取組みを行いました。

その結果、実質公債費比率は25%を下回ることが確実となり、**「脱・財政危機」**の第1ステップはクリアしました。

改善はしたものの、市税収入の大きな伸びが見込めない中で、社会保障費は増加の一途をたどり、厳しい財政状況が続くため、**「第2期財政健全化プラン」(平成26～29年度)**及び**「第3期財政健全化プラン」(平成30～令和3年度)**を策定し、引き続き取組みを推進しました。

■「脱・財政危機」宣言の解除

市民の皆様のご協力をいただきながら取組みを進めた結果、**「脱・財政危機」**宣言の発出時と比べ、各種指標が着実に改善したため、財政危機状態を脱したものと判断し、平成29年9月に**「脱・財政危機」宣言を解除**しました。

なお、これまでの取組みの状況は図表９のとおりです。

■中期財政運営方針の策定

今後は、これまでの取組みにより改善した各種指標の水準を維持しつつ、将来にわたって持続可能な財政構造を確立していくため、「中期財政運営方針」（令和4～7年度）を策定しました。

運営方針の主な内容については、P18の図表12をご参照ください。

【図表９】これまでの取組み

創意工夫による効率的な財政運営

○自主財源の確保 … ネーミングライツ（命名権）による広告料収入の確保　など
例：千葉マリンスタジアム（ZOZOマリンスタジアム）　など

○歳出抑制の取組み … 防犯街灯、道路照明灯等のLED化による維持管理費の削減　など

職員給与の削減

○厳しい財政状況を踏まえ、独自の給与減額措置を実施 … 職員給与、議員報酬のカット　など

市税等徴収対策

○効率的な徴収対策を全庁横断的に実施し、徴収率を向上
… 市税　H20:92.0% → R4:97.9%　など

公共料金の見直し

○市民負担の公平性の観点から、市民生活への影響を考慮しつつ設定
… コミュニティセンター、体育施設等（H23～受益者負担の導入・適正化）
家庭ごみ処理手数料（H25～ごみ削減に向けた市民意識向上、市民負担の公平化）　など

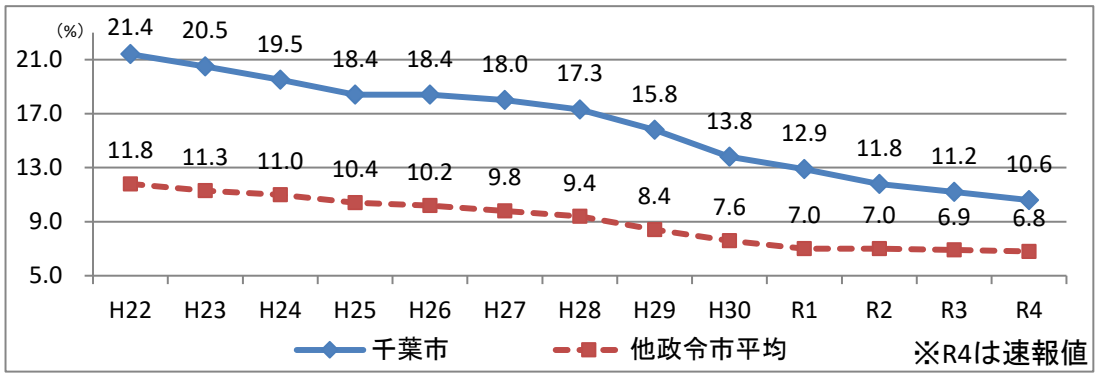
事務事業の見直し

○事業効果が薄れた事業や他の手法で代替可能な事業等について、市民生活への影響を考慮しつつ見直し … 難病疾患見舞金支給の廃止（H22末）
敬老祝金（長寿祝金）の支給対象年齢等の見直し（H27・H28～）　など

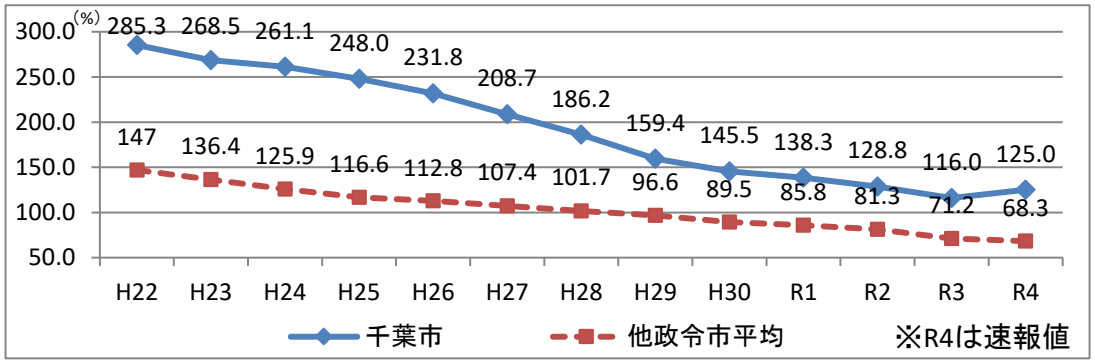
大型公共事業の見直し

○緊急性・必要性の観点から可能な見直しを実施 … 千葉都市モノレール延伸の見直し　など

【図表10】実質公債費比率の推移



【図表11】将来負担比率の推移



❷ これからはどうしていくの？

第1期～第3期プランの取組みより、健全化判断比率等の財政指標が一定程度改善してきたところです。しかし市民サービスを安定的かつ持続的に提供できるよう、将来にわたって持続可能な財政構造を確立していくためには**中長期的な視点を持った財政運営**が、今後より一層必要となることから基礎的財政収支(プライマリーバランス)の均衡などに主眼を置くこととし**「中期財政運営方針」(令和4～7年度)**を策定しました。

依然として基金からの借入残高が多額であることや、今後、1992年の政令指定都市移行の際に整備した施設の更新などにより、財政需要の更なる増加が見込まれますが、このような状況においても、安定的かつ継続的に市民サービスを提供していくことができるよう、財政指標への影響を見極めつつ、将来にわたって持続可能な財政構造の確立に取り組んでいきます。

【図表12】中期財政運営方針の概要

策定の趣旨

市民サービスを安定的に提供できるよう、将来にわたり持続可能な財政構造を確立するため、中長期的な視点を持って、本市の発展に真に必要な投資を着実に推進するとともに、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の均衡等を図り、健全性を維持した財政運営を目指します。

主な内容

基礎的財政収支の中期的な均衡

黒字を維持することにより、将来負担（借金の残高）の抑制につながります。

健全化判断比率の維持

・実質公債費比率
　… 11.8% 程度
・将来負担比率
　… 128.8% 程度
※ R2決算値

基金借入金の返済

方針期間内に80億円程度の返済を目指します。

※ 借入れは臨時的な対応のため、早期の返済が必要です。

※基礎的財政収支(プライマリーバランス)
社会保障や公共事業をはじめ様々な行政サービスを提供するための経費を、税収等で賄えているかどうかを示す指標で、借金返済を除いた歳出と、借金を除いた歳入の収支。

7　お問い合わせ先

	内容	担当課	電話番号
	本書全体に関すること	財政課	245-5077
P.3	宝くじに関すること	資金課	245-5074
P.4	高齢者の介護(介護保険制度)に関すること	介護保険管理課	245-5064
P.5	国民健康保険に関すること	健康保険課	245-5143
	市立病院の運営に関すること	経営企画課	245-5744
P.6	保育所等の運営に関すること	幼保運営課	245-5726
	学校の運営に関すること	教育委員会総務課	245-3017
P.7	道路の維持管理に関すること	土木管理課	245-5389
	下水道の維持管理に関すること	下水道経営課	245-5405
P.8	ごみの処理に関すること	廃棄物対策課	245-5067
	消防･救急活動に関すること	消防局総務課	202-1634
P.10	物価高騰対策に関すること	下水道経理課	245-5409
		収集業務課	245-5252
		こども企画課	245-5178
		こども家庭支援課	245-5179
		産業支援課	245-5277
P.11	災害に強いまちづくりに関すること	危機管理課	245-5406
		防災対策課	245-5113
		新庁舎整備課	245-5044
P.12	借金(市債)に関すること	資金課	245-5078
	道路延長に関すること	路政課	245-5374
	下水道処理人口普及率に関すること	下水道営業課	245-5411
P.13～	貯金(基金)に関すること	資金課	245-5078
	資産と負債に関すること	財政課	245-5077
	健全化判断比率に関すること		
P.16～	中期財政運営方針に関すること	資金課	245-5078

※内容によっては、担当課が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あとがき

最後まで読んでいただきありがとうございます。
市の財政がどのような状況か、また、市民の皆様に納めていただいた
大切な税金がどのように使われているか、少しでもご理解いただければ幸いです。
これからも、市の財政運営に、ご理解とご協力をお願いします。